WA 7
141
4

清水納言

東京圖書館
和書門
和文類
別つ壱
函
五三
架
三一
號
五
冊
68

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

故梶原芳埜納本

梶原家蔵

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』　請求記号 WA7-141

ガラス使用

人ーそひさふとてまひうろこ
引ものを

琵琶

ろろ巻を
姫うてうわうーまてうそか
ひへつう笙いふろろ巻をひう
ろろ巻を抱き玄

笛を

よこふえいうーうたうーと絃うち
うをそひをいやをたうーちうー
ふやをていとりのうなるをいや
かちみそもうまそを見こをひた
なー御ーてきうーちうーうしし
なとをいうーうめて

うーあうつきうろにわれく花のもとふありうろを
見つけ出うをなほたうー人のりとうわみよおこせ
うう絃をーひくみくやふをまうーみそ乃やうめそ乃こ
たりうろのふえを月のあるひさに車なとみそやて
ありうひみくくそ
見山るみくやいりふそ琵琶ろよこふえをよ見
なーのうーひちふをいとむりうーう秋のむ
絃いもくろ巳虫なをうそうろけちのをうろ
りうこまて巳ろうふ幾うろいとまくきよ
時のまちれ日のまうをおをてくをのく
うー弦うそよこ笛をいうーうをたそうあ面白
とき御とふりとなうちてつけく
ふきのかはうちりとそ出うりーな

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

あけてみるひとわを
いをすゝーをあまて琵琶ひきなゝし笛の
童ゐ山ぶををくいねるをロみーをさやうなる社ま
うしのちりうひやちる思うやあんれあやちう
うきちゝぬさ海あ連とおうしふこそ酒ゝをーくれ
いとくらう座こ成小先よこそーうる松ハをふるめ
くれ車にうくーを雪をうをいねやをれうーふ四九さう姫れ
秋冬をくれまてあ原うをいねうをうきまうう海をうまとやーふ
成ひまおちあけうるをたるもいふうたうーよくなまふ
なくひろふなをうちをたこうるにきぬを引かつふ
うう中ふ姫の都をうるをいねの海乃ちをめてうー
月のいをあるふ和川をわくさまハ牛九あ西ひまくに
をいちやうなとのわまうちやうう水九ちりあろ
そおろうれ

あはふそそきりの
法師くう酒飛ふくふ祝雲をのこれ目ちりそき
を女めきうろ又うふまるのやうんをなそろし
火れおうつう山吹の色ひろる8牛をよきそ大さ
ふこそめまし

ろーかくてありふへう
とろ乃りの思ふ系とう座ほけを女乃髪うりーくそ
ミーかくてを思ふーふのむをめれあう
人形取ーほさくーふりの
くりや結のさうしくなの何さらーふけん
童女をーた酒中乃くんほねそさうし三乃末干

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

うへまわり沙ふりてきてさうなりの事ありとありひくれてたいくれて大うさのうちさて人をたてのうさ里うさ弦うへうせくて下ゐみうさ山さ乃をあけし朝よりとうくせの人をかぬそのなきうまてをめてあくのこおそうさ事をいのてれらんおよそうさ海つ女なをせうれしやと思ふうさ海そこうこせをふとのおそうをくるしそれたうさうてあとかこうてあうさ女てもをかあめなゐみ乃ありにく海う那抱やめ連きゐまをゐらんとあいしまた左をの内ゐなをにかうさ世おそわうそ勢竹ひさり心糸さうありまれ又男女さう嫁乃あうなをもちて参里くをく海まいら世なとわうちな人くみうさを劇なとうすこ玉うて姫文なつけさう世をわいやをおりうまくをたまゐるとをまゐうさ世うにお我さうさいふりのと人のをそそうこ我と言をる兎うをやうをえんなる硯のおさうさ志きてあ連まおそまいら世うさまとそ

三か人氏苑や蜂やをいそく日を

わうかをん天そうりくるかををやわてうくをうへ海ないとめてをかこのこうやわてうくをうへ海ないとめてうきゐありきそ抱こんうさ十月十余日乃月いとあうきゐありきそ抱こんとそ女房十玉六人をうをみ参玉紀きゐをうへうう引をうさ竹なくなのうさ中に中納言れ君のおのうりたるをきそくひまりうこ我くいあうさ竹へうへうふおさらうさおそとをよくをゐ竹ひうふゆ青い乃

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

いと川ちかき世川なのつそ此
名成とも考るあり雲きうまし
かそ玉かりくハなまのくハ
清めホ宿うひとるをひう
むま屋を
ありうひう神乃むまやつ
まや山乃むまやほそ神なる
又あそまでする事のあるし
なうまでする
ありを
永たうかう思ともたうをさ
ま事へうさらひのたの人う
秋を

みる乃御前被田社をかや
や被をきのこや与被ありま
乃うに此御神いとたのそ
然人とありふそいをおりあ
ま世の人とそ尋積こ事ん
いとおりこれありと後しや
まやならんなりあり海は
人をのこれありてせすま
そ世外ふ人の間乃とをさみ
乃うホ郭乃うちよさ保りの
な利々保人ふいこきはの人
々保うセすちう文親ふうり
被うふ世いをみまていとを
ちの八を

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

みるものを

雪のいとたかくつもりたるに、火などおこして、物がたりなどするほど、いとをかしきに、

日を

入てねる山ぎはのみえぬれば

あすもさしこむ物とこそしれ

雲を

をちかたにひこうの声ぞ聞ゆなる

月を

名のみ秋の山ぢかきそらにて

星を

ほのぼのとあけがたの空のけしきなどは、いとをかしきに、

雪を

ふりつもりたるに、

のうひーつまのみるまひ
あと業なめけ成過
えのめれさいりんよむ人ホ
のちん乃舎人
さうーれりの
いな俺やうの三とせふちとかいけ
女とも過乃をこひおくいれまの地たけく俗ふうこ
あまのさをそうさ称ていとみきうこさかーてきふ
さ俺ひとへにこへくを乃こねうこれ過のくと
るまれそれをのうちち成さ人引ゆうめてをーきる
めねかくなりのとをーてうけたけうちさりなとく
うこにかうくなりくちうちうこてくうちふるひのふこく
ともいをはうーかのをなふ乃えのそれ風乃わの君

いうこねをーれくいのをひへうやうにやめをわ
ちうてねくねほを外てまーこわけま事を人くめーこわけま
とちうーをなうまそれいな俺よ女成るんめをはとく
をれうつなと語論をねうーけをの家れわふし
志連をうりのうく連ねうーれ珠うーさうーえの人成
をーなををへー

上達部を

春文大また右大将大納言権中なこん掌お中将
三位中ね妻文こん大夫伯注掌お

玉連を

弁乃中ねるん中ね四位少ね蔵人弁蔵人少なこん
妻文をの蔵人兵衛佐
注所を

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

女を
内供のをけ　かり
こや津う八百を
内侍宣のをは脇乃姫宮一百ば
とれう〜海〜ていけをめてく〜春天のは毋女房
よくきりのを
めれとの男あそあま女をさそれともちのくをよう孫
そうたのあくをへ告てわのりのにしてならうひ
ほやうしてう乃見つきうをいは〜ふ告の姫掛
をへ仏むし人城人とも思ひ〜けまと
あま〜とうと仏に住ていふ人をあけまへえ告〜
きたりく〜ちして事城おこうひなとけるけよ一条院

此院春ニ二考ヲ
ニアリ

なへ今内裏とそいふあり〜まん夜をへ法源劇まく
を小なる夜まをを乃わさ夜ま〜そわさら世おあめそ
法おへつかあれをんさいなとう人まゆひていと
おく〜二月寸余月れ月うくく空のとをうくわさ
原ふを夜乃西のひさ〜ふそ笛みうを外言をれ大
二まそ掛志まふ事ふん二〜そ告のと城おわもて
姫う夜外へそれのうめそ〜空云ふまのてる城
法ふえの師あそそ事なとと中まふいをめそ〜
見んのをふあめまをおく見をるたわなとをわう寿
ふせあ法をしなとおかゆ新事〜そのけ被をけ告
をま工のそうまそ花人まを感うるうう〜く
ちううてあまを夜上人女房そあちふとそ法寿
告うをうこれ作くまて法城なーのぬーをけまこく

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

ゐなへやうしのかのまふとをほしくあよさいた
ふ祝賀茂ふ御うりとそろてうまをほよふ
うふ是を女をまらん男乃かさてうりをあうな
い称のりとろふ紙うるまの
なうむ本をきふさまのをけ
いをほりをみゆるやうてかをうんか坂上うく
なことをうりとれうろうみ度の称しとなる
いうをきてなきほ
なめうろ世枚裏のくくふ風上のくくー
せあてれそろーふほ
よふなる称ちふとなるふぬす人氏へうれもむ
不ふ入をうそて祖を学て称人伯ともろす
毎のをーなりの

ふちあーふふろ倫あまさーて
心地西をは御ことに毎のりー人乃りひなくさあ
なの先うる祖れそ海ーふれ乃親れれうりう
ろてーうちさてくむこふ学ふいを社ふくをまぬ
むあのさろへ業不なとみそたうとふあひきう
ねーとや思ふらんある人のいるうー時まあひきう
人のむこふふるて学一月をそのくちうをあて
屋こまーくハをろてうーひさてきめれ変なを
やうのりのをまろくくきまうかふ
ろ表年れ正月ふ美人まのるぬあさまうかふ
なうろひふりのて学こそ人を思ひさあ称なとふひ
ありうをきくらんう二月ふ人氏八かう志外し
ところよ人てありまるてきくふ山美人てあまふ

ひこれろうれう人のそうの海をとうりさ孫くひ
なといろーうおさやうみそおれあー人のろうまの
ここのれをひよりけりそうまくおたまーをいりふ
ろんるらんと車の人をありやまろうさまをいとれー
うほをあと人ななをはまなふくおたまーねうれなと後
みをいひおな後男をそのくいとれーさんの思りん
事ハそあめ里人れむをめをいふへまみをあられ
えほうへとをとも弁りうう世ゆいうくりろき
あ連さらんをな後堂て

うれーおりの

まそ見出物語のおほうほみひろと見くいそうねろ
そうおかいる物語乃二見付あろ仏をとまをれやう
めをありうー人のやりをそうそ後ろるみ同し

はくなあおのさ見つけまろいりょのろんとゆ免を見く
打そろしとおまはふゆくはにしくみそあられあそ物
なとそうさ海いやをうまーようきさふう梅たりうーむりくふこしくみをあまいる海
きあーりーをよりひくふうりあまあ連かさら世ろ
を我よはらんーほそ世そ乃う海り勢いひそう世
外人へふいやをうまーしとをさてをれなーおの
うちなそう男ふ原んーしくなくく思ふ人乃なやひやく
りふくくと梅かはろなくふおこうりあろ
せうそこはをそうまし思ふ人の人みをかあら連
原んあとをき人なとの口梅おーうぬりのまれり
のさまふ梅れたりそーそくれ人をいひりりさろ高ハ
なのてかめら連うちちなしをみかろらてこれろの

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

いふうせなるやと思てたくのことれいとゝ
きよう〳〵成敗奉白ゟ多紙みち乃國かゝゟをえつまを
かくてもゝゝありゟ思へる里ゟ芸ゟ久
ゟうらいゟりてみあ科ゟあ紙うこゟ
乃をんゟさやうゟ久ゟ為うゝ志ろう
奉てゟれてゟ伺ゟあ紙ゟうゝ仏奉をえ思ひゟかゝ
ま〳〵宅余ゟ人科をなんなるとや世をゝをくの
なき事をゟくさむなるう郎れたをてゟ乃月を
りのなる人の見ろみのとわろくを勢ゟさふ梯人を
いうをを座ゟそくゟのいのうかといふゟて後
ゟ社為てふくゟ事を思ひそまくくそさろに
あるゟ為めてなるこゝ北ゟくみうりゝくみ
をせうゟ作るまをとく糸まなとのゟり勢ゝ是ゟ
きあゝめをさうろゝのあまし〳〵ゟん里為うあ
まゝ奉余経をうくまゝ奉ゟあそと作ら連うるいと
ゟゝむゝゟ思ひわれうゟ作ゟ事城れりをう世
給ゟゝゟを牡ゟゝ人ゝて角ゟれうゝまゝてを為う
なね事みそなろ思やめろをみゝ連てあいをいゟ
うゝとをのけまゟ世ゝ

みねゝをうゝ記うゝとのろうゝゟ

ゟろりよくゟひゟのをゟ思へゟゝれ
あまをうやとけの勢さ世外人とゝて糸ら世ゟ大ゝん
とろれさうしゝ仏ふきさ係をきひとゝ人をとう
せそねこをうゝあのかゝをゟろうゝふくりてりそ
ゟろくふむけまゟ事ゟをまさゆくちゝしゝて
わうゝう仏のうちゟねか仙二日をりをてあろな

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

きぬきて女房など男ども二たてみをきて
あるじをなどものをくさなどうのへをゆきて
いとおりこうわそをこのひまをこうち入
なまをあとにうちは産といふきよう
あうらへをといふきよう
あんとおりへをなほかほ人とを出
ものをとめをきとう勢よくわやしうをわうへと
ほうひのみけまはいふうひ
をものはうをえいひよなんえ
まいらせ御ありそれとなほ祖うすくろみさま
をせんおほせことなめ里とうたう
をとを出ふうさうひをなくて京の君ぬとう
かうふ事なんわほさるこくやきまるひ

きよひさありさ御乃外ひくさうをかく
やうわともふちうし外そをいひ
かくうせおしうなる利ゆ免くく
御よりとあまをえ事なよと思ひ
くそみ書てえみそうふはおひ
りのを御とひしりとは御そう
乃りとみおちう言わ
関白殿二月十日代初法興院
まて一切経供養せ給女院京乃
屋久れ二月朔日乃とて二条院
ふけて孫ひあくのをまうへ
はをものて月のうらくうふさ
なまをいをきあうねらうおうし

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

らくまいきさ添よ思ひくる風なきとてひきおろして
ぬくまるおさやのこう也竹ひつ〜ひと思ふこ〜ろけ
ゆ一糸りうまこそは一発たわくるふ人々の掛れ乃こぬ
へよそ一ふ八人くるおかふくわ一尺よ二尺りくれ
るさのあけしれうへふおり一まんなくれそくく
志くぬこ〜まるうとや一竹へてまてのこ〜ろのこふやう也給うまこ〜ろ乃はそもをわなこ〜
おり一まんそいこ一きおり乃海そよ海しめ〜んや中に
う〜おや乃柳のは堅えひ深よ重のは堅よ赤色の
う〜のは堅地をりの唐れうをおよさうんうさ称
をうはをなとをまわさわたりおおのいろさにあへて
ふ添へ事掛ゆ一我をはいりくる乃ろと作つるいうう
るんは作うなをを殊よおくをよまつてよそ久一うや

をはうをそ取乃大まの院乃は供よきそ人ふ乃んこぬ
れ同しト主称なうこまの作とまるふあ〜んまるしと
人思なんとそ殊よト主思そ也おくふ行おそふ城
くわいとをき竹へまなとてお乃ふ勝の人分いを
なさうふこれうふをや今かはかめ添く
ひくむあけさ也竹へまくふ添さいりふはかめ添く
のいこのふわてふ添を乃こさ行おなをさんそ三尺
乃はまトひとよ振ひを指ちのへをくこるのふこて
ふをーてをうー振よをくてみ一ひう我前の指よ風
里とーてなくー乃上かふ志きそ中納云の志と云ふ風
乃はおちれ右兵衛のうこ当きよとやのしくふうは
むをめ掌相の君とふとる見乃小振よ右大臣のは法そ
まふくまそよふねくみえ竹はおしそさい春う

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

大納言殿おもりの人おもてさいそよろ
あらんとのふ一事としてわろうぬすそ
や侍れ君赤色乃うす掛のはあ
落ゐのはそせ掛ぬ表き掛て
房ふまつまりてもおりむのふをいやせ
儀奥ゑしてもおりまさて見く
なとまらふ父の大なこん殿はお
えの深乃織掛はかをまれあ
掛の織掛なとき竹へ里例のやわ
はる産業女うれ中ふ入をかの事乃あやまるの
吟乃くもり竹ふさいとまへくし事まて
一切程をえ乃花のあるきよ一掛へくそう俗
上達部殿上人地下六位なふくれきりそ海ふいうう

なう中大納言ゑうちりなとをおひ
うく見ろに目をたゆく御うに位高人
事まふ事ふまそ牝月出産海供ふ
とてくうを表らん文、女装を海
せ又蔵人の弁事まて殿ふもは
侍れまくとていう世なとをゑ
のちかうなとやうの海世うそ
をて糸のよひきうなとをめて
ら世な上達部なと山座をうまう竹ひ
くふ文を門へ入を竹ふるを三
を二条の文ふそあり海さんとそ
ねくまてとくく見ゑ私はよ私内よを
ふな掛をそきさらんと結ふきやう

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

成安の男女を始め思ひきそ
そとひのへほをのてそ
そなといへ唱へ我事をさいし
我と毎々名をよるへ我をくせ
統するとやのこうせなふをは心わち井こくりわ也
たうとさりの
九条うやくちやう　念佛の云ふ
哥
扨そふ門非樂亦をたう今やうをのうくてを也
はさうふそくよくうこひ
さうめさを
むうさ起りえな夜をみなな井いとあいさうろな
ひのいろろさ源を源一まを利

うきあを
かう深の房な白き水くはの赤き和乃素色ちこ風ま
築楊柳みふちふとおとこを何色ぬきを
ひとへを
白なひろさうそくのおれひとへあこあなをうそ
めにきうるをよう源と牧きをたるひとへか
色きこ風をいせんつきなし好り色の衣をきこまを
多我ひとへをそ着うてそ男ら女を第乃垂まさまて
もろきりのを
羽のあゆを焼ひそうこそあ連兵を一丑あ
くをなてゆものやしをを成る勿成めのあくんさ
をかう思ふ人美れ事よをそ
我解恵きさ知よのなうむうるた人をろし当て

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141
ガラス使用

旧請求記号
195-40

国立国会図書館　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『枕草子 5巻』 請求記号 WA7-141

ガラス使用